

議 長
確認印

広報常任委員会会議録

1 日 時	開会 令和6年7月23日 15:00 閉会 令和6年7月23日 16:15
2 場 所	委員会室
3 出席委員	吉田広明、吉村守広、鈴木元久、菊地哲也、金澤太郎、堀江祐司
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	なし
6 職務出席者	事務局長、書記
7 付議事件	1 議会報告会について その他
8 議事の経過	<p>副委員長による開会 委員長によるあいさつ</p> <p>1. 議会報告会について 委員長：事務局より説明を求める。 (書記が7/12 全員協議会会議録について説明) 委員長：どのような方向にするか協議したい。 金澤太郎委員：全協において、まとめて議長が旧町村単位4カ所で開催と言っているの、これをベースにするのか。 菊地哲也委員：全協の内容を変更するとおかしくなるのではないかと。毎年場所を変えて、順番に開催というように解釈しているが。 鈴木元久委員：菊地委員と同じであるが、年に4カ所開催というようにも受け取れる。 (音声を確認した方がよいという意見があったため、書記がPCを委員会室に持ち込み音声データを全員で確認) 委員長：年1カ所開催で、その他行政区から要望があれば対応するというように受け取れたので、そのようにしてよろしいか。 (よいとの意見あり) 委員長：行政区長宛てに議会報告会開催要望の文書を送るか。議長の許可を得てからになる。 例えば、11月1日から11月25日までの期間とする。返信用の封筒をつける。 菊地哲也委員：早めに場所を決めておきたいと思うが、行政区の要望に対する対応があるので。 金澤太郎委員：今年度は大字塙以外での開催がよい。 鈴木元久委員：要望を取って、多いところ一カ所に行く。個別に来てほしいところは個別対応。 菊地哲也委員：スケジュールが厳しいのではないかと。 委員長：実施場所の順番を決めたい。 堀江祐司委員：五十音順ではどうか。 委員長：実施場所の順番は、笹原→高城→常豊→塙とする。 委員長：行政区からの要望が来た場合の対応を伺う。</p>

金澤太郎委員：「近隣行政区の場合は合同での開催になる」という文面を載せた方がよい。

委員長：そのようにしたい。笹原での開催お知らせを行うタイミングで、各行政区へ要望についての案内をする。笹原小学校近辺の行政区へは送付しなくてもよいと思う。

菊地哲也委員：テーマを決めたい。

金澤太郎委員：少子化対策について～皆さんの意見をお聞きしたい ではどうか。

鈴木元久委員：前回、議会活動の報告がなかったので今度は入れてはどうか。

金澤太郎委員：時間がかかるため、前回資料配付にして省略した。今回も入れなくてよい。

堀江祐司委員：「ほかどんなことでも」が入るので、それ以外のことも参加した町民は聞くことができると思う。

委員長：テーマを、「少子化対策について ・皆さんの声をお聞かせください」にする。

開催日程だが、昨年度と同じ時期にする。10月18日（金）予定とする。※10月25日（金）は、町村議会議員研修会があることを事務局が説明。

その他あるか。

金澤太郎委員：9月の広報全国研修会についてだが、参加希望者いたか。

（書記が現在のところはいないことを説明）

委員長：参加希望者いるか。

（協議の結果、金澤太郎委員と堀江祐司委員が出席することとなった）

吉村守広委員：子ども議会についての協議はどうか。

金澤太郎委員：今日の議題にはないので、後日改めての協議とした方がよい。

菊地哲也委員：教育委員会は総務常任委員会の所管・担当なので、よく確認した方がよい。

鈴木元久委員：子ども議会は広報常任委員会の役目ではないということを全員協議会で話したのではなかったかと思う。

副委員長：そうではない。過去に開催したときは、広報常任委員会が中心となって開催した経緯があると聞いている。広聴の意味もある。

（委員長が事務局に前回開催した経緯説明を求める）

（事務局長が、前回どのように開催したのか調べておくことを説明）

委員長：その他なければこれで終了する。

副委員長による閉会

埴町議会委員会条例第27条の規定により署名する。

令和 年 月 日

広報常任委員長